

1. 研究室概要

大学名	埼玉大学 大学院		研究者	綿貫 啓一
			職位	教授
研究領域	ヒューマンインターフェイス, 脳科学		窓口担当	AMI 研究センター(綿貫)
研究キーワード	ヒューマンインターフェイス、ユニバーサルデザイン、温熱的快適性評価、脳機能解析			
住所	埼玉県さいたま市桜区下大久保 255			
電話	048-858-3849	E-mail	coic-sangaku@ml.saitama-u.ac.jp	
FAX	048-858-9419	URL	http://human.mech.saitama-u.ac.jp	

2. 技術PR事項

『安全・安心・快適でエコな空間の実現を目指したヒューマンインターフェイス技術』

人が意識せずに、安全、安心、快適でエコな空間や移動を実現するための先進的なインターフェイス技術について研究を行い、地域社会・産業界への貢献を目指しています。

1. 概要

(1) アンビエント・モビリティ研究開発

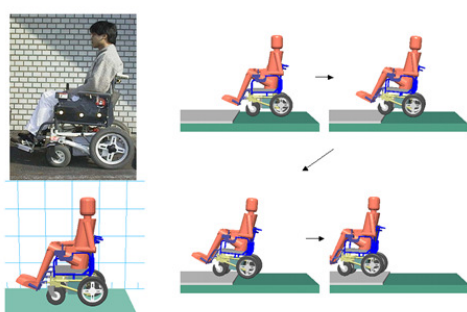
人間の五感を非侵襲的に計測した脳信号でセンシングする技術を確認し、人が意識せずに、安全、安心、快適でエコな空間や移動を実現するための先進的なインターフェイス技術について研究しています。

(2) モビリティ・ダイナミクス研究開発

モビリティ・システムや人間行動のダイナミクスを解明するとともに、その工学的応用について研究しています。



VR空間における自動車運転時の脳賦活反応計測



マルチボディダイナミクス解析によるモビリティ・システムや人間行動の解明および安全性の向上



ユニバーサルデザイン評価およびユーザビリティの向上



ブレイン・マシン・インターフェイスへの適用

2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

- ◆ 非侵襲脳機能計測、温熱的快適性評価、ユニバーサルデザイン評価、ブレイン・マシン・インターフェイス、人に優しい福祉機器・知能ロボット、次世代自動車インターフェイス、VR技術を用いた設計知識・製造技能の伝承などの共同研究やご相談はご連絡ください。

3. 特記事項

- 代表論文: K. Watanuki, A Mixed reality-based Emotional Interactions and Communications for Manufacturing Skills Training, Emotional Engineering, Springer, (2011), pp.39-61. など多数